会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回福津市地域密着型サービス部会 (介護保険運営協議会)	
開催日時	令和6年9月24日(火) 19:00～20:00	
開催場所	福津市役所別館1階 大ホール	
委員名	出席委員 松本 直人 部会長、 山城 崇裕 委員、 大庭 祥子 委員、 柳谷 里枝子委員、 原 雅昭 委員、 田島 勝彦 委員	
所管課職員 職氏名	高齢者サービス課 桑野課長 介護事業所指導係 林田係長、神田、岡本	
会 議	議 題 (内容)	1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について 2. 福津市指定事業所の開設状況について 3. 福津市地域密着型サービス事業所の利用状況について 4. 令和6年度運営指導の実施計画について 5. その他
	公開・ 非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・次第 ・資料1 ・資料2-1 ・資料2-2 ・資料3 ・資料4 ・当日資料
会議録の作成方針	☒ 録音テープを使用した要点記録	
	記録内容の確認方法	
その他の必要事項		
審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)		

○結論等

1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について
2. 福津市指定事業所の開設状況について
3. 福津市地域密着型サービス事業所の利用状況について
4. 令和6年度運営指導の実施計画について
5. その他

○経過

1. 課長挨拶
2. 部会長挨拶
3. 議題

○議題の経過

1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について

林田係長：昨年度説明させて頂いた資料ですが、今年度4月の人事異動にて、係長新任となりましたので改めて説明します。
資料1について説明。

松本部会長：昨年度説明している内容ですので質問はよろしいですか。
それでは、指定事業所の開設状況について、事務局よりお願いいたします。

2. 福津市指定事業所の開設状況について

林田係長：資料2-1説明。

松本部会長：こちらについて、何かご意見等ありませんか。

田島委員：地域密着型指定事業者一覧にある、「小規模多機能型居宅介護」と「看護小規模多機能型居宅介護」の違いは何ですか。看護の方が料金的にも高い気がします。

岡本：看護小規模多機能型居宅介護は医療的措置まで対応できるサービスです。
小規模多機能型居宅介護は通所と宿泊サービスを受けることが可能な施設ですが、小規模多機能型居宅介護のサービスに追加で医療措置を提供可能になるものが看護小規模多機能型居宅介護です。

田島委員：提供されるサービスは違うのですか。

松本部会長：小規模多機能型居宅介護は通称小多機と呼ばれます。小多機の場合は、通所サービスとヘルパー事業所と、泊まりがついているサービスであり、介護の部分のみを提供します。医療措置が必要な場合は、別の訪問看護事業所を入れる必要があります。看護サービスまで一体的に提供可能なものが看護小規模多機能型居宅介護です。それ以外の違いは特にありません。事業所数の増減に関しては、地域密着型ではデイサービスなかしまが廃止された後にLet'sリハ福津が増えましたので合計は変わっていません。次の資料の説明をお願いします。

林田係長 : 資料 2 - 2 説明。

松本部長 : 質問はありませんか。

津屋崎地区にみかづきケアプランとうみがめケアプランが開設されました。ケアプランセンター太平洋とつやざき居宅介護支援センターの 2 事業所のところが 4 事業所になりました。みかづきケアプランは上手くいっているようですが、うみがめケアプランは苦戦しているようです。

原委員 : ケアプランサービスゆーあいとケアプランセンターハロは主任ケアマネジャーがいないようですが如何ですか。

林田係長 : ケアプランセンターハロについては今年度ケアマネジャーの資格更新があるとのことで、令和 7 年度に主任ケアマネジャー資格取得予定です。猶予としては令和 9 年 3 月末なので問題ありません。ケアプランセンターゆーあいについては、以前から探していましたが、最近になって候補が見つかったとのことで解消予定です。

山城委員 : 主任ケアマネジャーがいなくても良い猶予期間はどれくらいの期間ですか。

神田 : 急な退職などの場合、1 年間の猶予があります。

松本部長 : 実際に主任ケアマネジャーが見つからず廃業される事業所もあります。

大庭委員 : 宗像市は居宅介護支援事業所数が少ないと聞いたことがあります。

松本部長 : 人口対比率に対しては少ないですが数的に少ないわけではないと思います。ケアマネジャーの資格取得後に、実際に就業するのは合格者の 3 割程度です。主任ケアマネジャーの受検者の平均年齢も 56 歳ぐらいとなっており、人材が少ない現状です。

大庭委員 : しらゆりも 4 人ケアマネジャーがいますが、1 人は取得済みで、次誰が取得するか話をしてても手が上がらない状況です。

松本部長 : 楽しい研修をしていますが難しいですね。

事業者数に関しては、事業所を開設する地域や人によって足りないと感じる事があるかもしれませんが、今のところケアマネジャーが足りずに困っている話などは聞かないです。他に質問はありませんか。それでは、福津市地域密着型サービスの利用状況について、事務局よりお願いいたします。

3. 福津市地域密着型サービスの利用状況について

林田係長 : 資料 3 について説明。

松本部長 : 何かご意見等ありましたらお願いします。

表でみると受給者数の総数はあまり変化がないですね。退去があっても新しく入居されるので、総数としては変わらないのでしょうか。定期巡回はどうですか。

大庭委員 : 最近新規の相談が増えてきましたが要介護1の方がとても多いです。認知症の方が多く印象です。

松本部長 : 田島委員は定期巡回・随時対応型訪問介護看護はどのようなサービスかわかりますか。

田島委員 : わかりません。

大庭委員 : 訪問介護の場合、掃除や入浴で1時間、30分など時間が決められてサービスを受けますが、定期巡回の場合、時間での縛りがなく、必要なサービスを適宜受けることができるサービスです。医療措置も対応可能で、24時間対応可能なサービスです。緊急通報システムがあるので、ボタン一つで事業所と通話可能で、必要があれば夜間でも訪問します。

松本部長 : 重度な方でも対応可能です。
地域密着型通所介護は、福津市は施設と併設している事業所が少ないですね。

大庭委員 : 施設内で利用する人が多いと思っていたので少し予想外です。

松本部長 : 少しずつ利用する人が増えているのでしょうか。
認知症対応型通所介護はもう少し増えることが望ましいですが、福津市以外も苦戦しているようです。
介護老人福祉施設、グループホームの待機者数状況は如何ですか。

原委員 : けんじえんの待機者数としては80名程度です。ただ、実際に空きが出て声を掛けると今のタイミングでは入居しなくて良いですと断られることが多く、実際には10名前後だと思います。

柳谷委員 : グループホームもとりあえず申込されて、実際に声を掛けるとまだ大丈夫ですとお断りされる方が多いです。

松本部長 : 待機者数自体は減っているのかもしれないですね。コロナ禍による影響も考えられます。

原委員 : 有料のサービスを利用されている方もいます。

松本部長 : 住宅型ですね。住宅型サービスも数的に増えてきています。サンタマリアも空いています。そこが安定していると1度入ると中々出ないですからね。

原委員 : 住宅型有料に入っても通所介護を受けられるので、介護に変える必要性がそこまで大きくないですからね。

松本部長 : 地域密着型なので地域の方々がサービスを受けられることができているのであればそれに越したことはないです。他に質問はありませんか。それでは、令和6年度運営指導の実施計画について、事務局よりお願いいたします。

4. 令和6年度運営指導の実施計画について

林田係長 : 資料4について説明。

松本部会長：改善報告を求めた事業所はありませんが、何か気になる点などありますか。

神田：基本的にどの事業所も書類等は整っており、指導することは細かな点が多いです。

松本部会長：人手不足に関して、小さい事業所などでは1人抜けると大変だと思いますが、人手の面での問題等はありませんか。

神田：今のところ問題なく、相談された事業所はありません。

大庭委員：今は派遣の人を雇う事業所が多いみたいです。

山城委員：病院系では派遣職員関係で、人材紹介料などを集団的に悪用してくる団体もいるので気を付けてください。

松本部会長：直接雇用ができるとういすね。海外人材はどうですか。

原委員：まだですが、これから取り組んでいく予定です。

松本部会長：サンタマリアでは8名実績があります。インドネシア人を現在雇用しており、紹介料が1人あたり約30万円です。日本人と給料は同じくらいですが、確実に働いてくれます。柳谷委員と原委員はどうですか。

柳谷委員：厳しいですね。看護職は比較的応募に來ますが、介護職は見つかりません。

原委員：働いている人の紹介は時折有りますが、やはり見つからないです。募集をかけて來られる方の年齢も高齢化してきています。

松本部会長：ありがとうございます。他に質問ありませんか。議題は以上になりますので、その他の内容について、事務局よりお願いいたします。

5. その他

林田係長：当日資料の説明。
10月4日金曜日にハローワークと共催で就職相談会を実施します。

電子申請について、10月1日より指定、更新、変更の電子申請ができるようになりました。規則の改正などは完了しましたが、提出書類の精査をした後に事業所に周知する予定です。

地域密着型事業所連絡会（ふくつなぎ）について、平成28年に発足して、定期的に情報交換や合同研修を行っていましたが、令和2年度からコロナウイルスの関係で休止しておりました。令和6年度中を目標に再開を予定しています。今後は回数等も増やしながら活動していきたいと考えています。

松本部会長：質問等はないでしょうか。

田島委員：関係ないですが、5月2日に読売新聞にて、介護職員に対するハラスメントが多く、そのことが原因で多くの方が離職していると紙面に記載されています。記事によると、介護職員の4割がハラスメントを受けた経験があると回答して

います。市として、ハラスメントに関する把握や、県のように相談窓口の開設は検討されていますか。

神田 : ハラスメント等相談があった際には市で対応する場合があります。県では全てのハラスメントに対応した窓口を開設しています。市としては特に把握はしていませんが、事業所はハラスメントの相談があった際に必ず記録を残していますので、運営指導の際にその内容を確認しています。件数について把握はしていませんが、ハラスメントに対する指針等や、相談窓口を設置しているのかを確認しています。

林田係長 : 特別な窓口があるわけではありませんが、相談があれば対応します。

松本部部长 : ありがとうございます。ハラスメントについて介護支援専門員協会の実施したアンケートでも半数以上が経験したことがあるとの結果でした。ケアマネジャーの場合、利用者や家族と1対1になるのでどうしても起こりやすいことではあります。介護施設や訪問看護では男性利用者からのセクハラなどもあります。どこまでが疾患によるもので、どこからがハラスメントに該当するのかの線引きが難しいところです。
電子申請はどのように始まるのでしょうか。

林田係長 : これから申請される事業所に個別で相談しながら少しずつ進めていきます。

原委員 : 福津市独自のシステムですか。

神田 : 全国共通のシステムですが、導入時期は市町村によって変わります。

松本部部长 : 無資格の方を採用した場合、WEB研修等を受けることがあります。高齢な方を新規採用する場面も出てくる中で、パソコンを所持していない為、自宅での受講が難しい現状があります。その場合、事業所内で受けていただくこととなりますが1人1台パソコンを用意する必要があり、そうすると1つのハードルになると思います。研修を受けているかの確認等はしていますか。

神田 : 運営指導の際に、入職時に必要な研修を実施しているのか確認をしています。今のところ実施していない事業所は見つかりません。

松本部部长 : 福津市の介護職員で無資格者は何人いるのか把握していますか。

神田 : 把握していません。訪問系は資格必須のため無資格者はいないと考えます。

松本部部长 : 原委員の事業所では如何でしょうか。

原委員 : 現状はないですが、いた場合社協などの研修を受講するようにしています。

松本部部长 : 分かりました。ありがとうございます。
他に質問はありませんか。なければ、本日の議事については終わります。

神田 : 事務連絡。
本日は、長時間ありがとうございました。